

令和2年度 第3回茂原市学校再編審議会 会議概要

- 1 日 時 令和2年8月18日（火）15時～17時5分
- 2 場 所 茂原市役所 市民室
- 3 出席委員 12名  
中山会長、足立副会長、永山委員、中村委員、齋藤委員、村澤委員、  
中村委員、中瀬古委員、壁委員、秋葉委員、齊田委員、平井委員
- 4 出席職員 12名  
教育長 内田 達也  
教育部長 岩瀬 裕之  
教育部次長（教育総務課長） 渡辺 裕次郎  
学校教育課長 金澤 勤  
学校教育課主幹 金坂 暁  
教育総務課長補佐 川崎 弘道  
教育総務課学校再編推進室長 田中 憲一  
教育総務課副主幹 豊田 実  
教育総務課総務係長 小安 宏尚  
教育総務課学校再編推進室 紺野 晃弘  
教育総務課学校再編推進室 深山 秀樹  
教育総務課学校再編推進室 狩野 久志
- 5 傍聴者 5名

会議内容（進行：川崎補佐）

- 1 開会 午後3時  
茂原市学校再編審議会条例第6条第2項に基づき、出席委員12名で過半数を達しており会議成立。
- 2 会長あいさつ
- 3 議事  
条例により会長が議長となるため、議事は会長が進行となる。

報告（1）本納小学校の移転について

事務局より【参考資料1】を用いて説明。

委員：2回説明会を実施したとのことだが、新治小の保護者も対象であった説明会について、どこの地区の出席者で、その人数、またその内容（概要）について教えてほしい。

事務局：8月1日の説明会は本納3地区の住民を対象とした説明会で、本納地区は85名、新治地区は24名、豊岡地区は22名、その他（市内市外不明）の方が13名で合計144名が参加した。そのうち17名の方からご意見や質問をいただいた。その内容については、小中一貫教育関連、防災関連（水害、非常口等）、ハザードマップ関連（作成方法、修正）、崖関連、赤目川の早期改修の要望などについてである。

委員：液状化の調査は終了しているのか。またその結果については。

事務局：昨年3月には地質調査を終えている。地上から6.35メートルの深さに固い地層があると判明し、併せて液状化の調査も行い、その恐れがないことも判明した。

## 報告（2）学校再編に関するアンケートの集計結果について

事務局より【参考資料2、3】を用いて説明。

委員：集計結果について、本納、新治、豊岡の回答率が他と比べて低い。何か理由はあるのか。

事務局：特に理由はわからない。

委員：もともと本納、新治、豊岡は再編の話があったため回答率が下がったのではないかな。

委員：より関係のある保育所（園）、幼稚園の回答率が低いことは残念である。本納保育所の回答率がかなり低い。各学校等に一声掛けるだけでも回答率は変わってくるのではないかな。また、子どもたちへのアンケートを取って見たらどうか。小学生以上であれば、自分たちのことなので、ある程度の考え方を持っていると思う。未来を考える機会を提供することにもなる。この会議もより良いものになるのではないかな。

事務局：今回は終了しているので、次回実施する際には考えていきたい。

議長：子どもの考え方も聞いて、それを大人の立場で理解して、これを回答していく方法もあったと思う。子どもの考え方は大事にしたい。

委員：新治小について、37枚配布して27枚回答があったということは、ほとんどの家庭が回答したことになると考えられる。85%強の方が統廃合はやむを得ない、または統廃合すべきとの回答結果は、保護者のなかでは早急に統廃合を

してほしいという気持ちが表れていると思う。

#### 議題（１）第二次実施計画における小中学校の具体的な再編方法について

##### 【本納小、新治小、豊岡小関連】

委員：本納小と新治小は統合すべきである。（新治小は）令和３年度だと２９名、令和４年度だと２８名、令和５年度だと２５名に減少していく。その次は、第一次実施計画のとおり豊岡小の統合である。新治小は塾の延長のようである。複式学級は先生がきちんと教えられるのか疑問である。なるべく同じ条件で学習すべきである。先生も正当に評価ができるのか。

委員：新治小はすぐにでも統合すべきである。また、本納小の崖からの避難も優先される。正常な教育を受けるということをしてあげるべきである。

議長：複式学級の教員も大変であろう。教員はやるべきことを自覚しているはずである。何のために教員であるのか自覚していると思う。３０人に満たないクラスの担任と平均的な学校規模の担任を比較したとしても、決して楽ではないと思う。子どもの多い少ないではない。前回の審議会での学校見学で、各委員はいろいろな感想をもったと思うが、共通しているのは、どこの学校においても、なるべく同じような条件をもって学校に通い、帰宅すれば家族に学校であったことを話しができるような環境を願っている。先生の年齢的にみても萩原小と新治小では、新治小のほうが若いと感じた。

委員：３年前に学校見学をしたとき、新治小の１年生は３人であった。広い教室には小さな机が３つしかなかった。この状況はどうなのかと思った。今回、１年生の教室には４つだった。やはり状況は変わっていない。子どもたちのことを考えると早急に同じ条件で学ばせてあげたい。切磋琢磨させてあげたいと改めて思った。新治小の子どもたちも明るく良い子だが、新治小としては暗く感じた。萩原小はにぎやかであることと比べると違うように感じた。本来は、たくさん子どもたちのいるなかで、意見がぶつかることもあるかもしれないが、そういうことも必要であり、コミュニケーション能力が育まれる。まずは新治小と本納小の統合を早急に進めるべきではないかと感じた。

議長：まずは本納小と新治小を第一に考える。つぎに豊岡小を考えるというご意見である。

委員：優先順位は新治小を本納小と統合する。アンケート結果をみると、新治小は、統廃合はやむを得ない、または統廃合すべきを合わせると８５％である。統合するにあたり心配な点と配慮してほしい点は、通学に関してがほとんどである。地図的にも、中学生なら自転車で通えると思うが、小学生では通学バスになると思う。新治小が本納小に統合される場合、通学バスはどのようなかたちとなる

のか。

事務局：スクールバスについて、小学生の場合は4キロ以上で検討することになる。新治地区は広いので、停留所の数などの具体的なことについては専門の会議等で決めることになる。今回、二宮小と緑ヶ丘小の統合に伴い、スクールバスを運行することになるが、3か所ほど停留所を設けている。必要に応じて考えていく。

委員：4キロ以上は大変だと感じる。新治小は人数的にはおそらく1台で足りると思うが、懸念がある。

議長：現在、新治小に4キロ以上の児童はいるのか。

事務局：市内ではない。いる場合はスクールバスを検討することになる。

委員：先月、学校見学したが、同じ市内の学校なのかと感じた。都心と田舎のようなギャップを感じた。新治小は早急になんとかしないといけない。複式学級の存在にも驚いた。いざ、中学、高校、大学、社会に出ていくときに、子どもの成長に影響があるのではないか。コミュニケーション等も考慮すると手を付けなければならないのではないか。新治小のアンケート結果をみると、世帯数は25であるため全世帯が回答しているはずなので、かなり濃い意見ではないか。教頭先生からの話で、衝撃的だったことは、新治小の保護者は毎年PTAをやらなければならないことである。五郷小、早野中の場合だと、在学中に一人につき一回はお願いしている。新治小は親御さんの負担も大きい。

議長：新治小は、かつて400人いたこともあった。現在が、子どもの数に差があり過ぎる。責任をもってこの会議は進めていかなければならない。

委員：本納地区のPTAの役員会で出た意見として、本納小については、崖から逃れたいので移転には賛成の方がいる。ただし、豊岡小、新治小の役員は心配事が多い。水の問題、騒音の問題、体育館やグラウンドの使用で遠慮する部分など心配事があるので、本納小への移転に賛成でない人もいる。新治小が統合されるにあたり、バスの送迎が必要になるのであれば、豊岡小へ行きたいとの保護者もいる。豊岡小であれば校舎も広く安心であり、体育館は耐震工事が済んでいる。新治小と豊岡小の合併ができないかという意見もある。数年後には豊岡小も人数が減少していき、本納小へ移ることになってしまうかもしれないが、今の新治小のPTAの話を知ると、できれば豊岡小に行きたいとの意見がある。

委員：第一次実施計画のとおり進めていくことに賛成である。アンケート結果で、新治小の保護者は85%が統合を望んでいる。これは家庭で子どもの声も聞いたうえでの回答だと思う。

委員：本納小の移転と、新治小と本納小の統合は別の問題である。本納小の移転は崖の問題があるからである。当時は新治小46人（H27～H28）、6年生は10人

いる。2桁の人数がいれば、少ないが学習や行事等はなんとか機能すると思う。文科省の規定では、2つの学年の児童を合わせて16人以下（ただし1年生を含むときは8人）であれば複式学級とならざるをえない。今の6年生が卒業すると全部複式となる。増置の教員を活用してなんとかしている。増置の教員は、教務主任でいろいろな学校運営に携わる学校運営の要となる。それが兼務して学級担任をやらざるをえないとなると、学校としても運営は厳しい。新治小は市で一人講師をつけているが、市の財政状況により講師を配置できなくなるとまた厳しくなる。少人数と少なすぎるとでは違う。全部の学級が複式になってしまうとか、学校行事など様々なことを考慮すると心配になる。アンケート結果では85.2%が統合に賛成であり、全体を上回っている。統廃合は避けるべきという意見は7.4%で、それぞれの学校区で一番低い。そこから保護者側の意見も、統合して規模の大きい学校にしてもらいたいと読み取れるのではないだろうか。新治小と本納小は早く統合してあげた方がいいのではないだろうかと考える。

委員：新治小は早めに統合したほうがいいことには賛成である。

委員：私は鶴枝小、南中の出身だが、豊岡小も新治小も非常に歴史がある学校である。豊岡小の運動会の場所取りはすごく、地域一体というのを感じる。だが、アンケートや文科省の方針に従うと計画通りに行うのはしょうがないことだと感じる。

議長：要約すると、まずは本納小と新治小を統合するという意見が多いように思える。3校同時に進めるのではない。再編後の学校の位置については、本納中敷地内で承認でよろしいか。ここにご意見はあるでしょうか。

委員：場所は表側にはならないか。そこでなければならぬ理由があるのか。目立たない場所のため、押し込められた感じがしてしまう。また、プールは使えないならきれいにするべき。剣道場は雨漏りもして大変だと聞いている。そういうところも踏まえて表側に出したらどうか。

事務局：今から場所の変更はできない。その場所になった経緯は特別教室とのつながりを重視したためである。特別教室棟に職員室ができますし、また倉庫も壊して使用できる場所は増やす。プールの跡地利用は検討する。

議長：以前、電車の騒音は大丈夫なのかと聞いたことがあるが、防音性の高い建物を建設するとのことだった。一時は本納中を離れて、他に土地があれば3校一度に入れるかということが課題となったが、何年かけても場所が見つからなかった。おそらく事務局側も色々な大変なことを進めてきたと思う。

委員：移設と統合は別問題である。あくまでも新治小は本納小と統合するという方針で進めていくべきだろう。早急にというが、いつなのかということ。平成30年11月の会議のときに、本納中付近で検討するという話だったが、いろいろ

検討されたと思うが難しかったのだろう。その上、崖回避の話が出てきた。早急に移転する必要がでてきたため、苦肉の策で今の案になったという理解である。子どもの安全と教育を考えるなら、今の案を進めていくしかないのではないだろうか。豊岡小の統合については、今の本納中敷地内だけでは厳しいと思う。近隣の土地を確保できるのなら早急に統合するし、できないのであれば、何らかのかたちで市で土地を買収するなり取り組んでいただけたらと思う。

議長：再確認だが、今回の検討内容は、本納小と新治小の統合を先に進めるということ、3校同時に進めるということではないということ。再編後の学校の位置は本納中学校敷地内で、現在スタートしているので変えるわけにはいかない。ここからは早野中関連の審議をさせていただきたい。

#### 【早野中関連】

議長：早野中関連のご意見を頂戴したいと思います。

委員：先日見学させてもらったが、やはり人数が少ないと思う。音楽をやっていたが、人数が少ないためブラスバンドができていなかった。校庭に水が溜まるという話だが、水はけのよい土を入れるなど校庭の整備をして、車を入れないようにすれば雨が降っても、次の日には乾くのではないだろうか。早野中を南中に統合し、今度小学校と統合する時に改修して統合するとか。遺恨が残らないように。あと、義務教育学校を作る方向性があるのかお聞きしたい。

事務局：本納地区を中心に小中一貫教育を進めようとしている。本納中と本納小が統合した場合の例だが、その場合校長先生は2人いることとなる。だが、義務教育学校は9年間の教育課程を一つのもの、一つの学校として考えるため一人となる。現在のところでは市では考えていない。

委員：やはり児童数が少ないと感じる。人数が少ない生活は、特に中学生への影響が大きいと思う。集団生活を通して生徒を育むためには人数は必要。充実した学校生活のため統合は早急にした方がいいのではと思う。

委員：元々は南中も早野中も一緒だったので、統合するということでも、抵抗なく一つになれるのでは。

委員：中学校を見てきたが、皆さんは小規模校に見えるのではないかと感じる。統合には賛成である。もともと分かれたものが元に戻るという感じだと思う。校舎はまだ新しい方だと思うので、その後の校舎の跡地利用がこの先に絡んでくれればなお賛成かなど。部活については、運動系は特に人数が少ないため、やりづらい環境が続くと思う。

委員：南中への統合は賛成である。もともと分離したものであるため自然に統合されるものなのかなと思う。

委員：南中と早野中が統合した場合はそれはそれで良いと思うが、早野中の学区を富

士見中方面へ少し広げるという考え方もあるのでは。西小が既に少ないため、西小と五郷小の合併が視野に入ると思うが、やり方によっては今後の小学校と中学校の編成という面でも変わってくるかなと。

委員：基本計画では9～18学級が適正規模。人数が減少するなら統廃合を検討する。今後生徒数が増える見込みがあまりないというのがある。基本計画の今後2025年の推計だと、4学級になり1学年しか2学級がない状態になる。中学校でクラス替えがないというのは厳しいという感じがある。実際に厳しい思いをしていそうな生徒もいた。クラス編成は考えるべき。部活動の選択肢も狭い。

委員：同意見である。ただ、アンケート結果によると統合したときに、環境変化による子どもへの影響を心配する声が多い。統合した場合スクールカウンセラーの人数を増やすなど、そういった配慮をしてほしい。

委員：賛成である。アンケート結果も、南中・早野中の保護者はかなりの数が統合はやむを得ない、統合すべきだという意見であり、喫緊の課題である。環境変化による子どもへの影響も心配されているし、そこまで考えられた結果なのかなと考えられる。今後、五郷小の人数も減少傾向にあり、そのことも踏まえて、南中と早野中は統合していく方がいいと思う。

委員：同意見である。関連してだが、各小学校の編成も考えるべきだろう。

議長：では次に西小、五郷小、鶴枝小関連のご意見をいただきたい。

#### 【西小、五郷小、鶴枝小関連】

委員：現段階では考えていない。本納と新治、早野中が優先ではないかと。

委員：まだいいのではないかと思う。目の前の本納小、新治小と早野を優先。いずれやらなくてはならないだろうとは思いますが。

委員：南中と早野中を統合するという前提の話だったら、西小から茂原小の方へいくのが自然なのかなとも思う。鶴枝小は五郷小か中の島小へ分けるかあるいは、五郷小と中の島小から少し鶴枝小へいくか。早野中の学区を富士見中へ広げるのであれば西小は五郷小へ入れて、早野中へいくという考え方もある。

委員：統合の考え方だが、学区の見直しをしなければうまくいかないのではと思う。

委員：アンケート結果によると、できるだけ統合は避けるべきという意見が、西小は22.2%、鶴枝小は36.3%となっている。統廃合ありきで考えるのではなく、丁寧に進めるべきではないだろうか。

#### 議題（2）保護者意見交換会の実施について

事務局より【資料2】を用いて説明。

委員：議会にどういう提案をしてどういう結末になったのか、経緯がわからない。その辺がわかるといいのかなと思う。例えば今回意見交換会をやるにしても、意見を聞くのはいいが、決めたことは議会で承認されているので動かしようがない。そのうえで意見を聞くのだらうなとは思いますが、そのあたりがこちらにもわかるとありがたい。

事務局：今回ご審議いただいている第二次実施計画は議会にかかっているものであり、移転の関係は予算が伴うため議会に諮って進めている。今回の保護者の意見交換会については、第一次実施計画の中で統合を進めていくことは決まっております。統合の順番や時期をどうするかについて、保護者の方の意見を聞きながら、その意見を審議会の方へ返し、審議を進めていただきたい。

委員：本納小を本納中へもってくるだけではなく、統合してはじめてお金が出るという話、統合が前提という話だったが、国がダメだったら市が負担するという考えなのかお聞きしたい。

事務局：国の負担金は条件が整って進めていけた場合にももらえるものと考えている。負担金ありきで統合を進めるのではなく、条件がそろった場合にももらえると考えている。条件が合わなかった場合は、市が負担する考えである。

5 その他 特になし

6 閉会 17時5分